

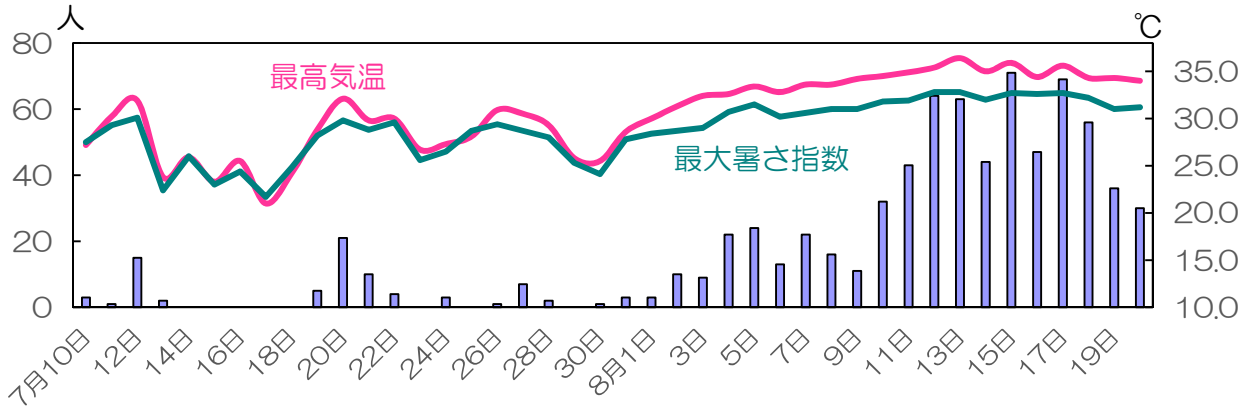
# 熱中症情報

## ＜搬送数＞

令和2年5月1日～8月20日までの搬送数（消防局データを使用）は、計892人（5月24人、6月96人、7月87人、8月685人）でした。8月10日以降は、最高気温が34℃以上で、搬送数が急増しています。連日の猛暑で、搬送数も60人/日以上（8月12～13日、15日（71人）、17日）と多かったです。

こまめに水分を取り、外出はなるべく避け、適切に冷房を使用するなど、暑さから身を守りましょう。

また、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大しています。『新しい生活様式』を実践し、感染症予防とともに、これまで以上に熱中症予防（屋外で人と2m以上離れている時は、マスクを外すなど）にも心掛けましょう。



**暑さ指数とは？**人間の熱バランスに影響の大きい①温度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「環境省熱中症予防情報サイト [暑さ指数\(WBGT\)とは？](#)」をご覧ください。

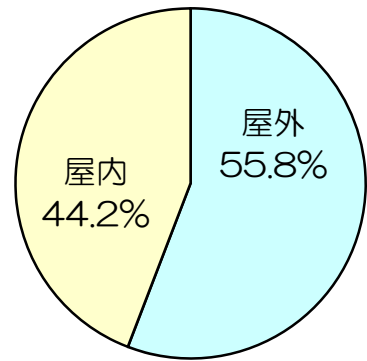
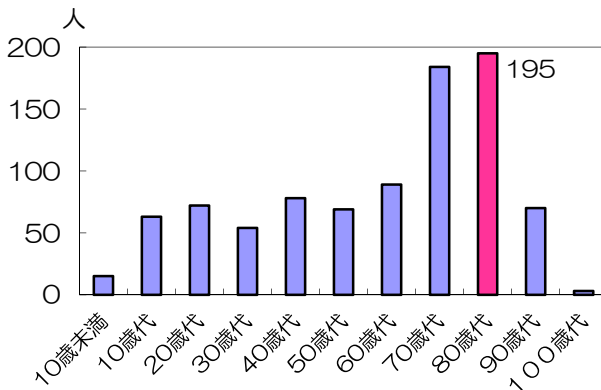
以下のグラフのデータは、5月1日からの累積搬送数です。

## ＜年齢別＞

年齢別では、80歳代が195人と、最も多く、21.9%でした。

## ＜発生場所＞

屋外55.8%、屋内44.2%で、屋外での発生が多くなっています。



## ＜重症度＞

軽症51.7%、中等症41.1%、重症5.5%、重篤1.7%でした。

高齢者（65歳以上）の重症の割合が高くなっており、高齢になると重症化の傾向が伺えます。

